



114
A 22.5



印書局改正見込

大正十一年四月
環正侯爵郵寄贈

印書局ノ事務ニ於テハ政府ニ関スル刊行書類
 ヲ悉皆印刷セスハ非サルノ職ナリ然ルニ諸省
 ニ於テ各適宜ニ任シ書林或ハ活版社へ命スル
 者少ナカラス 其一ニヲ挙クルニ日就社ニテハ海軍工部ノ務
 三省ノ書類ヲ印書シ公聞社ニテハ司法省ノ
 書類ヲ引受其外各社ニテ多ク
 官ノ出板ヲ印刷スルアリ 是印書局ノ名アツテ
 實ナキノミナラス空シク官ノ費ヲ増益スル者乎夫レ
 諸官省ノ布告或ハ刊行物等其發スル定期
 ナケレハ一時ニ輻湊スルハ常務ト見做シ其職ニ
 従事スル者協力勉勵シテ其業ヲ盡サスンハ

大藏省



何リ其任ニ勝ルト云ハシ然ルニ其官ニ列スル者
上四等官ヨリ以下數十人ノ負アツテ其業ノ
成ラサルモノハ蓋シ他ノ官負ト同シク定限ノ
時間ニ昇降シ緩急ノ度ヲ計ラス其布告
ノ輻湊スル時ハ偏ニ太政官ノミヲ奉守シ諸省
ヲ顧ミサルヨリ諸省大ニ其辨ヲ失フニ至ル
ニ於テ書肆へ命スル諸省ノ罪ニアラサルナリ然レ
虽モ政府ヨリ發スル書類ヲ商人ノ手ニ下シ
刊行セシムル恐クハ官ノ權利ヲ失フノミナラズ
事ノ未發ニ漏レ遂ニ或ハ奸ヲ計ル者ナカルハ

カラス之ニ加フルニ官ノ事務ニ通セサル至愚ノ平
民ニ任スル時ハ其意ヲ用ユル必ズ粗ニシテ誤
脱多ク再三ノ校正ヲ煩シ遂ニ遷延期ヲ失
フニ至ラン此ヲ以官其費ヲ厭ハス印書局ヲ
設立スル所以ニシテ其業舉ラサルモノ實ニ
遺憾ノ至リナリ嗚呼其官ニ位スル者教師
ヲ海外ニ近ヘ官費ヲ以テ生徒ヲ養ヒ自ラ其
カヲ竭サス只官ノ財貨ヲ費ヤスノミ其功ノ
成ラサル宜ナル哉假令諸官省ノ刊行書類
一時輻湊スルト雖モ其任ニ當ル者時間ノ限

顧リミス 夙夜勉勵スルトキハ 何ソ其事務ヲ
缺クテアラシ 凡業ノ舉ラカルモノハ 其法ノ正
シカラカルト 其主任ハ 當ラサルトニ 在ルノミ 故ニ
今悉ク一先シ 其法ヲ 革正シ 其任ヲ 精選シ
更ニ 諸省ヘ 告諭シ 大ニ 其業ヲ 興シ 官ノ 辨ヲ
專ニスルキハ 他ノ 活板商ヲ 要スルナク 印書局ノ
全體ヲ 明ニスルニ 至ラン 依テ 別紙 概畧見込
通り 印書局ハ一ノ 商局ト 見做シ 右ニ 關スル
官員 給料ヲ 始メ 諸入費ハ 悉皆 資本ニ 立テ
消却ノ 法ヲ 設ケ 其代價ヲ 收入スルキハ 其任

ニ 當ル者ニ 於テ 必ス 消却ノ 速ナルヲ 欲シ 其業ノ
盛ナルヲ 企望スルハ 人ノ 常情也 其情ニ 因テ 法
ヲ 立ツルキハ 自然 盛大ノ 局ト 相成 上下ノ 辨
少カラスト 在候 依テ 別紙 添上 申候也

概畧ノ方法

一 印書局ノ儀ハ一ノ商局ト見做レ右ニ関スル入費官負給料ニ至ルマテ總テ資本金ト定メ諸官省各府縣其外ノ印書ヲ引受ケ其代價ヲ收入シ資本金消却ノ法ヲ設ル事

一 諸官省日誌并布告類及ヒ出板物等書肆又ハ活版商ニ命スル價位壹割ヲ減シ脩成期限等ヲ速ニスル法ヲ設ル事
一 諸官省ヨリ各府縣ニ布令達書等

此ヲ先ハ善キ
早々ハ行ヒ難
ク斬シ以テ為
スヘキ見込

是迄定數アレトモ以來ハ各府縣ニテ
其管内人民ニ布告スルニ付他ノ書肆ハ
命シ再ヒ上梓スル書類ハ悉ク引受ケ
其代價ヲ減シ運輸等簡辦ノ法ヲ
設クル事

一右方法ノ全備スル後ハ資本消却ノ
速ナルヲ要スル故右諸官省ノ外書林
或ハ諸商人等ノ取扱物ヲ引受ルノ
法ヲ立ル時ハ必ス盛大ニ至ルニ盛大ニ
至ル時ハ必ス利益増加スルニ利益増加

セシ上ハ自カラ低價ニテ出來ノ道相立
官ノ冗費ヲ減スルノミナラス庶民ノ
便利モ亦少ナカラス然クシテ資本ノ
期シテ消却ニ至ルノ法ヲ得ヘシ
一官負ノ定限見込左ノ通

一長
但判任官ニテハ等ヨリ登ラス

一會計總括機械場取締諸向應接兼
一負

但長ニ垂ク

大蔵省

右

當

以來ハ各府縣ニテ
 告スルニ付他ノ書肆ハ
 凡書類ハ悉ク引受ケ
 運輸等簡辦ノ法ヲ
 後ハ資本消却ノ
 右諸官省ノ外書林
 出板物ヲ引受ルノ
 益大ニ至ルニ盛大ニ
 増加スルニ利益増加

具ニテ出來ノ道相立
 ルノミナラス庶民ノ
 ラス然クシテ資本ノ
 ルノ法ヲ得ル
 込左ノ通

一負
 一負
 湯取締諸向應接兼

大蔵省

當時ノ官費

四等 一人
 七等 一人
 外判任官十七人
 外國人雇二人
 右官ノ減少ノミニテモ月々五百圓余ノ減額アリ

△其外外國人ニ雇ケテ
 常ニ月々五百圓
 中、定額ニ奉
 外判任官十七人
 一人月給五百圓
 一人日 百圓

一會計掛

一負

一編輯掛

一負

右四負ハ相共ニ協力シ且ニ缺ヲ補ヒ

然テ不都合無之ヲ要ス

一校合

四負

一諸向掛合ノ為メ往復スル者

二負

右ハ官負ノ列ニアラス雇ノ名義ヲ以テ
事務為扱候事

但給料ハ十五回ニ過ラス

一右人負實際不足ノ節ハ雇人ヲ以

テ相補ヒ候積リ尤盛大ニ至リ又ハ

洋書ノ活板等ヲ引受ル時ハ此限ニア

ラス

一職人等ハ各府縣士族活計ノ方法

不相立者ノ内ヨリ相雇追々其職ニ

達スルノ法ヲ立ル事

一是迄外國人雇入有之甚不都合

ノ至ニ候ハトモ一ケ年期ノ事ニモ有之

先其儘關テ候積尤着手ノ上ハ

篤ト示談ニ及ヒ半途ニシテ相廢シ
候歟又ハ諸省ノ内ニテ使用ノ場所
モアラハ雇替ノ目途相立候事

一 印書ノ事務ニ関スル官負ハ他官負
ノ例ニ不係職人ト見做シ出勤退引
ノ定期無之事務繁劇ノ時ハ鷄鳴
ニ出局シ或ハ徹夜スル等ノ事アルコ
尤平日タリトモ職人ノ時刻同様タル
ハシ

一 右官負ハ他官負ノ定權ヲ脱シ諸官

省ノ掛合ハ勿論商人ト雖モ鄭重ニ
取扱ヒ應接等懇切ニ處置スヘキ
法ヲ設ル事

一 右官負ノ儀ハ少負ニシテ大業ニ従事
スル故全ク其任ニ的當セサレハ必ス其業
行ハレス是ハ特別ノ精撰セスニハアルヘカ
ラス依テハ是迄其局ニ附屬ノ官負ハ
一時相廢シ更ニ撰擧ノ績リ尤職人
等ハ一應檢本一ノ上其儘仕雇スヘ
キ事

一官負出勤ノ候時間外并夜業等
致シ候節ハ相當ノ増給料ヲ與
フル事

一記録頭助ノ内日々一回ツ其局ヲ
見廻リ事務ノ勤惰及ヒ會計出納
其外ヲ檢スル事

一日々脩成高諸品出納并右ニ從事
スル職人雇人ノ負數給料等ヲ表ニ
作リ一月瞭然ナラシメ毎月記録頭
助ニ差出ス規ヲ立ル事

一資本金消却済ノ後ハ相當ノ益金
上総ノ定額相定置一ケ年兩度総
計算ノ上上納残り益金ノ分ハ右ニ
關スル官負并雇人職人ノ等級ヲ以
割當褒賞トシテ相與ハ益勉勵スル
ノ法ヲ設ル事

